

# 10人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 五嶋 義行 「阿蘇市『西の玄関口』構想と景観整備は」・・・P14
- 2 市原 正 「新型コロナウイルス感染症の状況は」・・・P15
- 3 佐藤 和宏 「道路交通法改正に伴う高齢ドライバーへの取組を」・・・P15
- 4 森元 秀一 「LGBTについて問う」・・・P16
- 5 園田 浩文 「阿蘇観光のこれからの取組は」・・・P16
- 6 児玉 正孝 「安全性・利便性向上に向けた市道交差点の改良を」・・・P17
- 7 谷崎 利浩 「坊中南住宅の建設工事の状況は」・・・P17
- 8 竹原 祐一 「『水田活用直接支払交付金』の見直しの対応は」・・・P18
- 9 河崎 徳雄 「市総合計画の具現化に向け、過疎債の活用を」・・・P18
- 10 佐藤 菊男 「安全で安心な道路の維持管理は」・・・P19

## 阿蘇市「西の玄関口」構想と景観整備は



五嶋 義行

**五嶋** 旧阿蘇町時代から「赤水、車帰は西の玄関口」と言われてきたが、平成28年の熊本地震で大きく傷ついた。地震から6年が経ち、大方の復旧も終わり、アクセスルートの工事も完了したが、その後の通行量は、**中本建設課長** 震災前の平成27年10月の1日当たり通行量は2万7,600台でしたが、開通後の令和2年11月には、現道(国道57号)で1万5,500台、北側復旧道路で1万3,400台の計2万8,900台となっています。

**五嶋** 現道が多いのは意外だったが、観光客向けに現道をもっとアピールしてもらいたい。

**秦観光課長** 現道は南阿蘇方面や、山上への阿蘇公園下野線にもつながる非常に重要な路線です。赤水や尾ヶ石も含めた地域で、TSMCの進出も念頭に、オリジナルの観光スポットを見いだすためのワークショップなどを行い、西部地区の開発とアピールを進めたいと思っています。

**五嶋** 阿蘇西地区の空き地対策、

移住・定住問題への対応は。

**荒木まちづくり課長** 阿蘇市の子育て環境、生活環境の利点をPRし、移住体験ツアー等も積極的に進め、移住促進に努めていきます。

**五嶋** 玄関から入ったお客様を、次は座敷に案内するが、阿蘇西地区の座敷は内牧だと思う。車帰、赤水、尾ヶ石を経て内牧へと、デザイン性のある看板設置はできないか。

**観光課長** そのような看板があれば便利ですが、国立公園内であることと、また世界文化遺産登録も目指していますので、慎重に検討します。

**五嶋** 内牧への県道の改良は。  
**建設課長** 現在の県道内牧坂梨線道路改良工事の完了を見越して、積極的に要望を行っていききたいと思います。



西の玄関口の看板

# 新型コロナウイルス感染症の状況は



市原 正

**市原** 阿蘇市内における新型コロナウイルス感染者の状況は。特に、オミクロン株による第6波の影響は。

**山中ほけん課長** 3月13日現在の阿蘇市の累計感染者数は653名です。第6波は526名で、全体の80・6パーセントを占め、オミクロン株の感染力の強さを感じています。

**市原** 今回は若年層の感染も目立っていると思うが、保育園や学校での感染状況は。

**松岡福祉課長** 3月13日までの保育園が6施設、園児感染者数60名、職員の感染者数22名という状況です。

**藤井教育課長** 3月11日現在で、学校関係の感染者数は69名です。

**市原** 市内で感染者が発生すると、市民の方から「どこで発生したのか。」との問い合わせの電話があるが、「公表されていないから。」としか答えられない。この事についての説明を。

**宮崎市民部長** 感染者の発生状況等はすべて県の所管で、県内すべての市町村に対し、公式には現在公表

している内容以外の発生地域等の情報は、提供されていません。憶測による誤った情報や、差別や偏見による被害を受ける人が出てくることも想定され、現在の公表内容となっています。ご理解をお願いします。

## 一の宮地区駐在所の運用は

**市原** 阿蘇警察署の移転に伴い、市内の関係団体とともに行った要望活動が実を結び、市が整備する一の宮安全安心拠点施設に、県警が駐在所を設置することとなったが、運用開始時期は。

**山本政策防災課長** 建物は3月末の竣工を予定しています。警察業務の開始については、6月からの予定と聞いています。



一の宮安全安心拠点施設

# 道路交通法改正に伴う高齢ドライバーへの取組を



佐藤 和宏

**佐藤** 5月13日から道路交通法が改正され、過去3年間に違反歴がある75歳以上の高齢ドライバーが免許更新をされる場合は、実車試験に合格しなければ更新出来ない事になる。今後の免許返納者に向けた、支援内容は。

**山本政策防災課長** 現在の状況は、65歳以上で運転免許を自主返納した場合、路線バスを利用する際には、「免許返納者割引乗車証」を提示することで運賃が半額となります。また、阿蘇地区交通安全協会に加入され、管内に居住されている方であれば、定められた事業所で経歴証書を提示すると商品の割引等の特典があります。車の運転をされない方には、食材の配達や医療機関への送迎など、公的なサービスに加え、民間事業所等のご協力により、高齢者等の生活や外出を支えているような状況です。

なお、路線バスについては、赤字路線のコスト削減を前提とした新たなコミュニケーション交通の実証実験を行

う予定です。乗合タクシーについては、地域の実情にあわせた運行時間の変更や新たなエリアへの乗入れなどについてタクシー事業者と協議を行っています。

**佐藤** 法改正によりサポートカー限定免許も導入され、サポートカーに乗り換える際の費用支援など、国や県の補助金に乗せするような新たな支援制度はできないか。

**廣瀬財政課長** 国の制度の情報は入っていませんが、県では65歳以上のドライバーに対し、後付けの踏み間違え防止装置やドライブレコーダーの導入支援に向けた予算を令和4年度計上予定とお聞きしています。高齢化の進展は社会全体の問題でもあることから、他市町村の動向も見ながら、関係課とともに検討していきたいと思えます。

## サポートカーの機能の1つ



踏み間違い時の急発進抑制などをサポート

先進安全技術はあくまでも安全運転の支援であり、機能には限界があります。

(経済産業省ホームページより)

# 「LGBTフレンドリー」問う



森元 秀一

**森元** LGBTに関する職員研修の進捗状況は。

**村山総務課長** 昨年10月に職員ハラスメント防止等に関する指針、規定を定め、同月に管理職研修を行いました。研修ではハラスメントにも、パワハラ、セクハラ、ジェンダーハラスメント等があり、また、人には男性・女性といった2つの性だけではなく、それ以外のジェンダーがあるということ意識する必要があります。さらに、性的少数者にも多様な性があるというところを学ばせていただきました。市職員としてLGBTについても多様な性について考えるところに、互いに相手を尊重し合える理解者や支援者となるよう取り組んでいきたいと考えています。

**森元** 各種申請書や申込書における、性別記載の見直し状況は。

**市原人権啓発課長** 各課に調査したところ、性別記載のある申請書は229件あり、その中で、法令等や業務上の必要性により、今すぐに見直しは困難なものが191件ありま

## 《LGBT》

L	Lesbian (レズビアン)
G	Gay (ゲイ)
B	Bisexual (バイセクシュアル)
T	Transgender (トランスジェンダー)

LGBT以外にも、さまざまなセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の方がいます。

他に「世界文化遺産登録に向けた進捗状況」、「子ども家庭庁」が法案閣議決定されたが市の対応は、「在宅医療・在宅介護の実態について」の質問がありました。

**人権啓発課長** 市民の方々への周知により理解を深めていただくとともに、民間病院や専門家等も交えた組織を立ち上げ、導入に向けての協議を進めていきます。

した。結果、システム改修や規則改正等を含めて、見直しを行ったものは38件ありました。今後も継続して見直し可能なものについては進めていきます。

**森元** パートナーシップ制度を導入すれば、差別や偏見をなくするための土壌づくりが進む。パートナーシップ制度の導入についての阿蘇市の見解は。

# 阿蘇観光のこれからの取組は



園田 浩文

**園田** アフターコロナを見据えた観光事業は。

**秦観光課長** アドベンチャーワールド創造事業に集約しており、令和4年度は28項目の事業を関係機関と連携して実践していきます。

また、昨年末から今年3月半ばまで開催された「阿蘇竹あかり」は、県が主催する阿蘇観光復興事業の一環です。2月末までの入場者数は1万1,800人。泉大橋で実施された「恋人たちのイルミネーション」は、地域の方々やホテル・旅館の宿泊者の皆さま方にも大変喜んでいただきました。

**園田** 新型コロナと共存・共生していく中で、市と観光協会・旅館組合・商工会等との連携に、今後どう取り組むのか。

**阿部経済部長** 環境省・観光庁関連の補助事業等を行いながら、感染状況を見据えつつ、各種キャンペーン等を実施していきます。

また、各関係機関と連携強化を図り、事業を推進します。

マイナンバーカード取得による行政手続きの効率化は

**園田** 阿蘇市の取得率は県内市町村平均を上回る41.28%である。制度発足から6年経過し、行政手続きの効率化は実感できているか。

**高木総務部長** マイナンバー制度は社会保障・税・災害対策の3分野から始まっています。児童手当や介護保険など、全部で1,800以上の行政手続きが対象とされている中で、公営住宅の入居申請や児童扶養手当の申請時における添付書類の省略など、確実に省力化に繋がっています。

南宮原旧教育キャンプ場の進捗は

**園田** 砂防工事が進まなければキャンプ場の再開は難しいが、国交省との直轄砂防事業の調整は。

**藤井教育課長** 先月行った協議の中で国交省から説明があり、直轄砂防ダムは令和7年度中の完成を目指していると聞いています。



阿蘇竹あかり

# 安全性・利便性向上に向けた市道交差点の改良を



児玉正孝

**児玉** 阿蘇警察署の移転に伴い、国道212号と市道北黒川西町線の交差点を通過する車両が増えている。クランクして利便性が悪い交差点になっているのはなぜか。

**中本建設課長** 圃場整備地内に後から国道が整備されたため、西側の北黒川から来ている市道を優先的に横断させる構造になったと思われます。

**児玉** 改修を事業化した場合、費用は市の負担という事だが、直角に交差できるよう国、県と協議出来ないか。

**建設課長** 県にも相談はしてみます。今後、有利な過疎事業などの計画に入れて整備できればと思います。

## 経済的で効果的な河川改修を

**児玉** 黒川支流の横道川に架かる橋は、河床から胸元ほどの高さで、大雨の度に流木が流れをせき止め、氾濫する。河川の整備には莫大な予算が必要だが、河床にU字溝を埋め込む工事で費用を抑え、被害低減できないか。

## 建設課長

全面を掘り下げると護

岸が崩れる可能性もあるため、整備が可能であれば検討します。

## 子どもの見守りについて

**児玉** 阿蘇小学校では老人会の協力を得て、子供たちの登下校時の見守り活動を実施している。散歩を兼ねて見守って欲しいという趣旨であるが、交通事故防止、子どもの健康観察、地域の防犯など、活気あふれる地域づくりになると思う。他の校区の状況は。

**坂梨教育長** 夕方の交通事故発生率が36%と高く、この時間帯に地域の方が関わっていただく事は本当にありがたいと思います。他校区で学校と地域、保護者等を取り組んでいます。が、引き続き子どもたちの安全確保にご協力いただけるよう取り組みます。



市道北黒川西町線と国道212号との交差点

# 坊中南住宅の建設工事の状況は



谷崎利浩

**谷崎** 南住宅の建設工事日程の明示を。また南住宅は坂が急なので、まちづくりや免許証返納などを考慮した構想を。

**加藤環境課長** 令和2年度に設計を終えているところですが、今後は、建設予定地となる既存住宅入居者の方の移転及び空き家の解体を4年度中に進め、5年度に建設工事に入る計画です。また、進入路については、徒歩・自転車での負担を考え、新たな進入路が出来ないか検討しています。

## 過疎地域持続的発展計画にある道路拡張や補修計画について

### 谷崎

上西黒川成川線、坊中下西黒川線、上西黒川西町線の整備計画は。

### 中本建設課長

上西黒川成川線は、旧国道から農村公園あびかまでの1.5kmの道路で、3期に分けて整備する計画です。1期目は現在行われている用水路更新事業と併せた道路拡張工事です。今年の作付けまでには路盤まで終わらせ、舗装については

令和5年度を予定しています。2期目は、JR線路から南側の農地に面する区間で、黒川地区農地整備事業に併せて、土井の内踏切も含めて改良を行う計画で、5年度からの着手を予定しています。3期目は、黒川地区農地整備事業完了後、旧国道までの集落内の道路に着手します。

坊中下西黒川線は、前述の2期目において交差点から西に900mの拡張工事を、黒川地区農地整備事業に併せて5年度から着手予定です。上西黒川西町線は、老朽箇所舗装の打換えや通学路の外側線のカラーリングなどを計画しています。

他に「4年度修繕費と将来修繕費総額」、「医療費情報とe-ITax」の質問がありました。



坊中南住宅解体跡地

# 「水田活用直接支払交付金」の見直しの対応は



竹原 祐一

**竹原** 昨年、農林水産省から、今後5年間水張りをしない水田は交付金対象から除外するなどの方針が出たが、今後、どのような影響を受けるのか。

**佐伯農政課長** 今回の交付内容の見直しは、現時点では決定事項ではなく、現場の課題を検証しつつ方針が判断されることになっておりますが、水稲や麦・大豆等を経営主体とした大規模農家に与える影響が懸念されます。

**竹原** 交付金の対象外になれば、耕作放棄地の増加も懸念される。対策を真剣に考えて行くべきでは。

**農政課長** 主食用米の現状が非常に厳しい状況の中、今後は転作が固定化している水田の畑地化を含め補償金の活用など、独自の加算制度等を検討したいと思います。

また、水稲と転作作物とのブロックローテーションを行うなど、農業者の方々と交付対象となる方策を十分検討するとともに、各生産部会・JA・再生協議会等の意見を踏まえ、

関係機関と連携しながら検討したいと考えています。

## 野焼き手当の適切な支払いを

**竹原** 一部の地域では、行政区住民に対して野焼き手当の支払いがなされていないと聞いた。火入れ責任者は担当行政区長であると思う。牧野組合と担当行政区へ、割合面積に応じた支払いはできないか。

**農政課長** 現在、中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金を活用して野焼きに係る交付金が各協議会から支払われています。管内の野焼きの状況等を考慮しますと、現状の活動組織への支払いが適当と思われる。また、それぞれ参加者の出面表と交付額の一致を確認し、支払われています。



野焼き

# 市総合計画の具現化に向け、過疎債の活用を



河崎 徳雄

**河崎** 本年4月から阿蘇市全体が過疎地域に指定される。この経緯は。

**山本政策防災課長** 令和2年の国勢調査で人口要件と財政力要件が満たされることにより指定されます。

**河崎** 令和4年度の国の過疎対策費の予算が5、200億円ある。阿蘇市総合計画の具現化にこれを活用し、安全・安心な阿蘇市を目指して欲しいが、過疎債の活用要件は。

**廣瀬財政課長** 事業を市過疎計画に位置づけ、過疎法の趣旨に合致することなどが要件となります。

## 第2次阿蘇市総合計画（後期計画）について

**河崎** 総合計画を継続推進するにあたっては、前期の成果検証が必要である。農業振興に向けての、前期の実績を踏まえた後期計画の取組は。

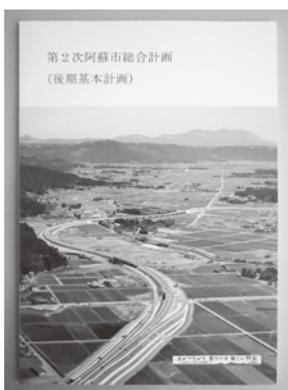
**佐伯農政課長** 近年の新規就農者数は年間15名ほどで推移しており、管内に担い手としての定着化を図るため、市独自の新たな支援制度などを創設し、足腰の強い、持続可能な

農林畜産業の振興につながる施策を推進します。

**河崎** 移住・定住の件数と、近隣町村を含むふるさと納税額の実績は。

**荒木まちづくり課長** 空き家バンクは70件ほどの契約が成立しています。ふるさと納税の令和2年度の受け入れ額は、南小国町が9.9億円、高森町が8.6億円、阿蘇市は約1.9億円です。後期計画では新たな返礼品を開発するなど、関係団体と協議しながら取組を進めていきます。

**河崎** 前期計画における観光客数等の検証と、後期の計画は。  
**秦観光課長** 観光客の状況の中でも好調であったインバウンドの前期の実績は17万人で、後期目標は23万人です。



第2次阿蘇市総合計画  
(後期基本計画)

# 安全で安心な道路の維持管理は



佐藤 菊男

**佐藤** 日常的に行っている道路の点検内容とその頻度は。

**中本建設課長** 市道については職員及び作業班で、2、3か月に1回全路線を巡回し、路面の沈下や陥没等の有無の点検をしています。

**佐伯農政課長** 農道・林道は舗装の破損状況を日常のパトロールにより確認するとともに、市民の方々からの通報を受けて対応しています。

**佐藤** 区長要望や通報に対する対応の状況及び実施率は。

**建設課長** 道路に関する区長要望は、拡幅や舗装、側溝改修及び新設など様々で、年間平均で100件ほどありますが、対応できたのは、3割程度です。

**佐藤** センターラインや外側線などの白線が消えていたり、見えにくいと道路機能が低下する。白線等の補修が必要な路線の延長の割合と今後の対応は。

**建設課長** 市道の6、7割程は引き直しが必要ではないかと思っています。今後は少しでも予算を増やし

て対応していきたいと考えています。  
**藤田土木部長** 限られた予算の中で、緊急性があるものを優先するとともに、地域性も考慮しながら取り組んでいる状況です。

**佐藤** 児童生徒の通学路の安全確保をはじめ、市民の暮らしに密着した安全で快適な道路環境の維持と保全を執行部に求めたいが。

**佐藤市長** 道路インフラの維持管理は大変重要なことだと思っています。今後もしっかりと国や県の補助事業等にも予算を求めながら、各種道路の強靱化と維持保全を進め、より安全で安心して暮らせる阿蘇市となるよう、努力していきたいと思



白線が消えた道路

## 阿蘇市功労者表彰

3月29日、10年以上の職にあった市議会議員に阿蘇市から功労者表彰状が贈られました。



前方左から、受賞された「谷崎利浩議員」、「菅 敏徳議員」、「森元秀一議員」、「河崎徳雄議員」、「市原 正議員」、「園田浩文議員」